菊壽童

208
4
728

帝國圖書館藏

国立国会図書館　菊寿童霞盃 208-728

ガラス使用

208
4
728

国立国会図書館　菊寿童霞盃 208-728

ガラス使用

45 7. 12
購求

国立国会図書館　菊寿童霞盃 208-728

ガラス使用

菊壽童霞盃
六編下冊

菊壽童霞盃
六編
京山作
上冊
國貞画

天保子新板
栄久堂上梓

京
水

百為

国立国会図書館　菊寿童霞盃 208-728

ガラス使用

国立国会図書館　菊寿童霞盃 208-728

ガラス使用

菊寿童霞盃七編上巻

京山作
國貞画
栄久堂梓

国立国会図書館　菊寿童霞盃 208-728

ガラス使用

国立国会図書館　菊寿童霞盃 208-728

ガラス使用

菊壽童八編上

京山作
國貞画

寅春新板　山本平吉發販

京山作
國貞画

菊壽童
八編下

栄久堂梓

国立国会図書館　菊寿童霞盃 208-728

ガラス使用

菊壽童霞盃

八編上 壬寅春 新板

栄久堂

今日となりて菊作らふとおもひけると人口に鱠炙
せまとどむし二水が句とハ志る人ぞ志る爾し志ら
さりがつの学者顔も多ハ人に菊の下水学の庭
もいと淋けれバたろうしの森に啼く児雀の觜をなら
まて菊壽童が事を作りて菊の葉に志るしるも五ひらを
かさねたとし又六ひら七ひらハ編を作まりなれが硯乃
水もうきなを菊の露いつまでもつきぬやう明日となり
ても菊作らふと遠延命をいのるのになん

天保十一子ノ春　山東菴京山

国立国会図書館　菊寿童霞盃 208-728

ガラス使用

国立国会図書館　菊寿童霞盃 208-728

ガラス使用

国立国会図書館　菊寿童霞盃 208-728

ガラス使用

国立国会図書館　菊寿童霞盃 208-728

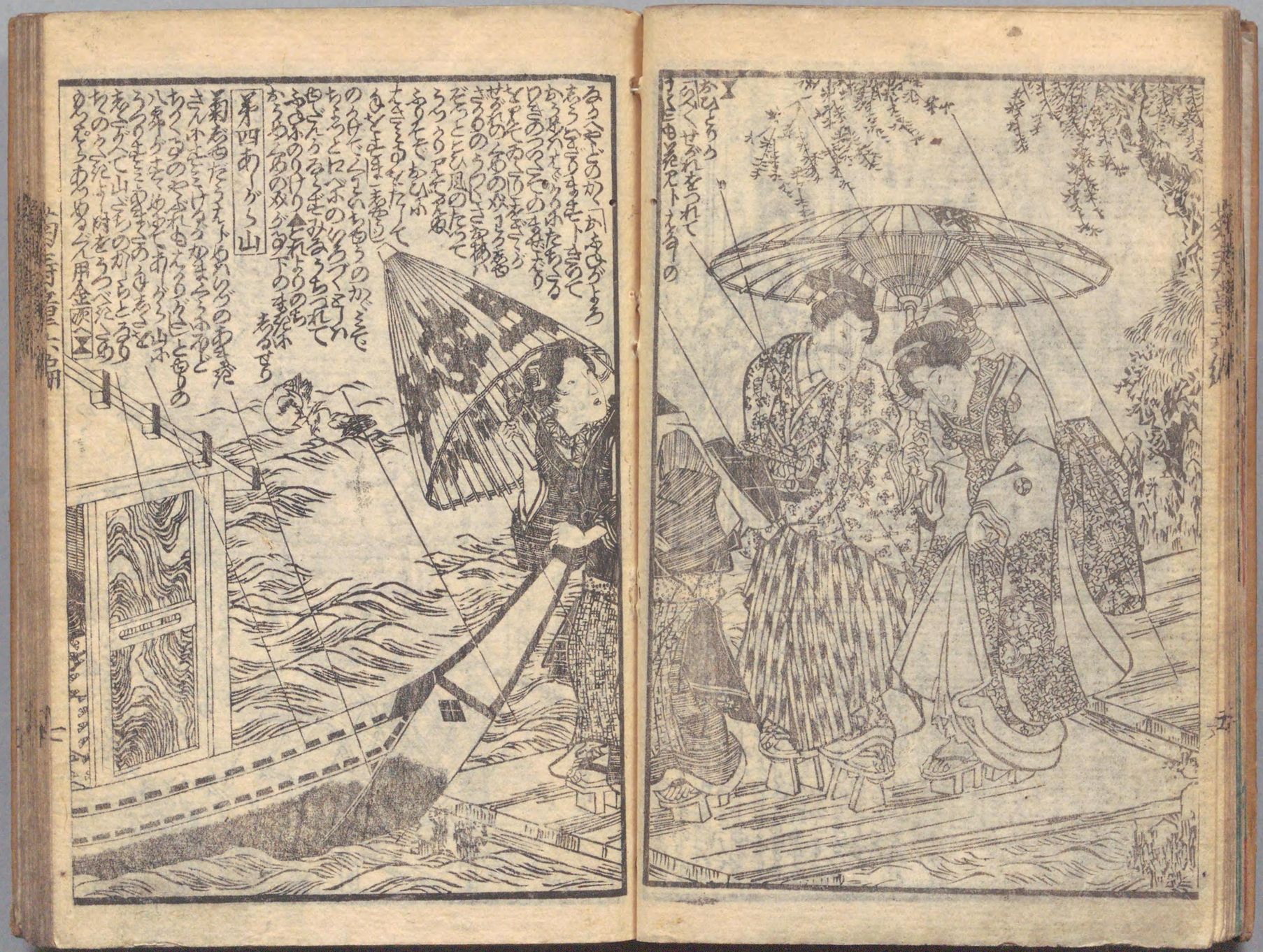
ガラス使用

国立国会図書館　菊寿童霞盃 208-728

ガラス使用

国立国会図書館　菊寿童霞盃 208-728

ガラス使用



国立国会図書館　菊寿童霞盃 208-728

ガラス使用

国立国会図書館　菊寿童霞盃 208-728

ガラス使用

国立国会図書館　菊寿童霞盃 208-728

ガラス使用

国立国会図書館　菊寿童霞盃 208-728

ガラス使用

国立国会図書館　菊寿童霞盃 208-728
ガラス使用

国立国会図書館　菊寿童霞盃 208-728

ガラス使用

国立国会図書館　菊寿童霞盃 208-728

ガラス使用

国立国会図書館　菊寿童霞盃 208-728

ガラス使用

国立国会図書館　菊寿童霞盃 208-728

ガラス使用

国立国会図書館　菊寿童霞盃 208-728

ガラス使用

国立国会図書館　菊寿童霞盃 208-728

ガラス使用

国立国会図書館　菊寿童霞盃 208-728

ガラス使用

国立国会図書館　菊寿童霞盃 208-728

ガラス使用

国立国会図書館　菊寿童霞盃 208-728

ガラス使用

菊壽童霞盃七編上冊

菊壽童かきこれ盃初編天保二年卯の春の新刻児曹の玩冊とせしに亂菊ののとに遊ぶ狐福の幸を得てあらまりゐられまと書肆が二の矢れ催促に編をかさねて今既に七編の筆を採るにいたれり他の作家にあらずおのれハ此冊子を幾編に作らんとおもひまうけど書肆がのとむるにまかせて錫の如くに援延も児曹に覧するものなれバ尤さまたバ板行の櫻木に筆の軸に竹を継るもいとおもひし児曹されを恕し玉へといふ

江戸京橋南街　山東庵京山題

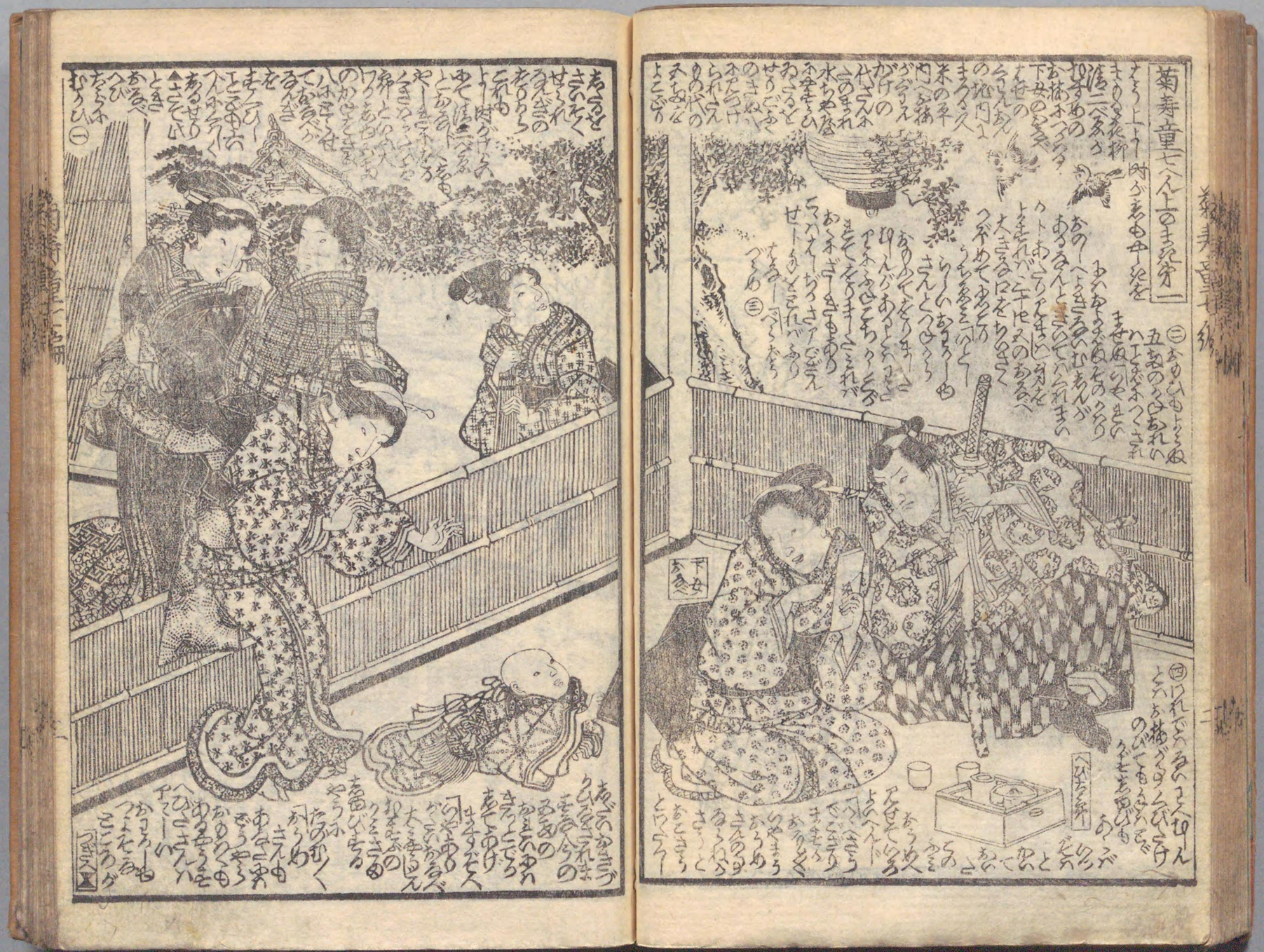
天保十一子　仲春脱稿　初冬上梓　書肆　栄久堂發兌

国立国会図書館　菊寿童霞盃 208-728

ガラス使用

国立国会図書館　菊寿童霞盃 208-728

ガラス使用



国立国会図書館　菊寿童霞盃 208-728

ガラス使用

国立国会図書館　菊寿童霞盃 208-728

ガラス使用

国立国会図書館　菊寿童霞盃 208-728

ガラス使用

国立国会図書館　菊寿童霞盃 208-728

ガラス使用

国立国会図書館　菊寿童霞盃 208-728

ガラス使用

国立国会図書館　菊寿童霞盃 208-728

ガラス使用

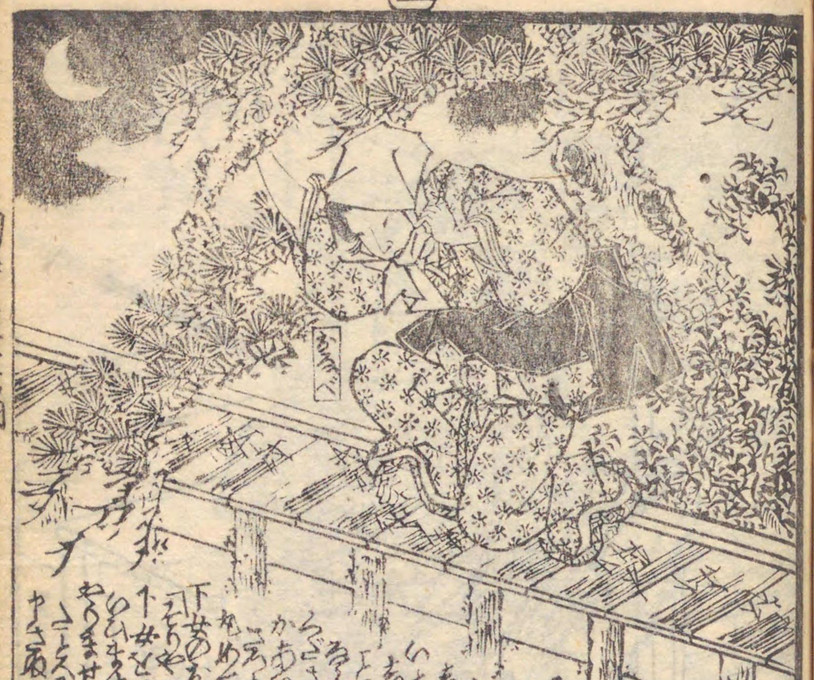
国立国会図書館　菊寿童霞盃 208-728

ガラス使用

国立国会図書館　菊寿童霞盃 208-728

ガラス使用

菊寿童七編下巻之一



お梅ゞ母のお松へひそかに
よろこべるさまのかつけこぎこお梅を
りこひけくれしへんたるこうまり
久めのめをむこふり
ある夜ふとおりしつ
のつかどうのひあふとはお梅ゆへ
ろづけのむこぐぐぐまそ
ぐるるのかちあうめのかでもの
あのめ
あうことのめけふこそ
いとそ久米のめをひ
よそをつくろひたうこそ
そうねやこそ
ふこそのひこそ
かあいさのあまりこのそれこそ
こあゝみくおうめがふこそを
めてたこへうけつけ
下女のこうべおうめがからふのしやこそ
こそりやこそさんのかつてあこそのあこそ
下女をきこそこそをとこそやとこそさんこそへひそこそ
のひまうすまうのこそやこそろくまこそ
おうまはせうこそやこそ
ふこそものひまうすこそや
やさ取ト
たこそけこそてこそ

菊寿童七編下巻之一

京山作
國貞画

（二）さうふせ
なこそをされが
あさこそう
たこそ
こそさこそろ
こそそれへ
のや
「あれが」と
今の
せこと
「よそれそれ
さこそく
トせこそろめ
られ日ごろの
ろちきうまこ
もまこそ
おのふもおけへん
たよをこそくと
まこそ
みこそけり

国立国会図書館　菊寿童霞盃 208-728

ガラス使用

国立国会図書館　菊寿童霞盃 208-728

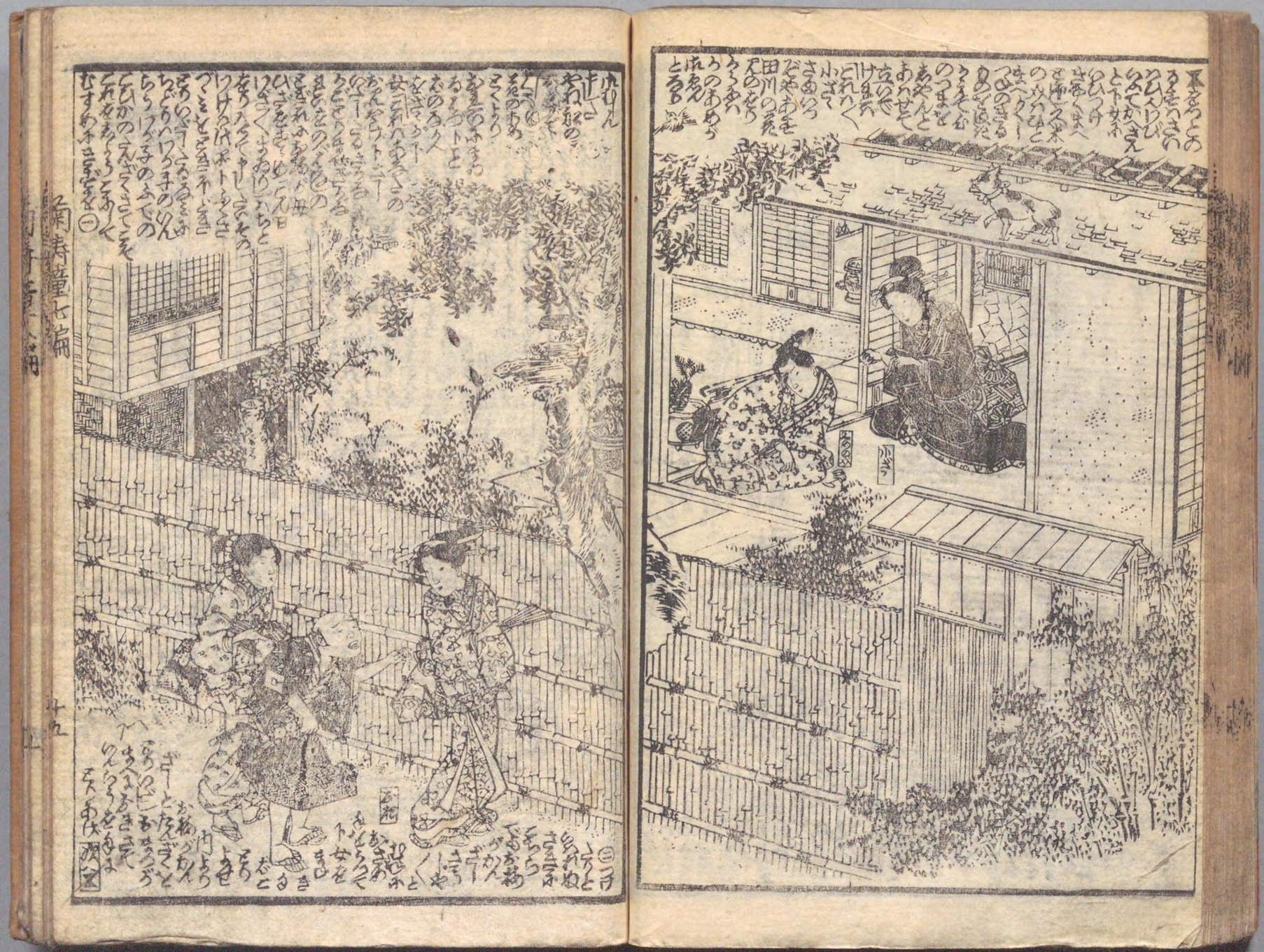
ガラス使用

国立国会図書館　菊寿童霞盃 208-728

ガラス使用

国立国会図書館　菊寿童霞盃 208-728

ガラス使用



国立国会図書館　菊寿童霞盃 208-728

ガラス使用

国立国会図書館　菊寿童霞盃 208-728

ガラス使用

国立国会図書館　菊寿童霞盃 208-728

ガラス使用

国立国会図書館　菊寿童霞盃 208-728

ガラス使用

「これでやうくたらば
りとる召のてある
つぐきさたらけくる
うちつれてかへりけり

第六おこえのくるわより

久米の丸さうくうつかき
あやー
ここのまうのさう
あねさまもしたこ
ちおろー
さくとまさ
たのくうとちまう
したくんとまうる
をうーのかくうく
わけて源二べゑ
ゑへすけはたう
りぐちをやうひさげ
わけのさやくあの久
さをーろくやりのねづき
まうとこう「かやちさゑ
ひちらが今のらう
せさおえくぐちの
ぎりともそのおかを
おもつめ

お松

源二べゑ

久米の丸

お花

（四）へびそうをさるむろうおとこまきのかう
五人やう十人きうくやつまろうぬかたと
をのくさをともおやくの分のよわ
たくさともあらんとさる状うへて
あやこの多えきう源二べゑ
やうをさくど
「なれ
今のざふ
せさたちへ
どーとん
そちうよ
およなぬ
をみフウ
さうしよト
あさうんまう
ゑへ
ひそあだんくのかうをを
ひさうさこそうをを
ちくてんのぶまづ
そのだようちくてんのぶまづ
をりそあがう山おりけのあう

（三）
ぐんぐ
ぢさま
だうるにうもも
ひらんさされきを
「まつ
お松
源二べゑ
ゑへすけはたう
りぐちをやうひさげ
わけのさやくあの久
さをーろくやりのねづき
まうとこう「かやちさゑ
ひちらが今のらう
せさおえくぐちの
ぎりともそのおかを
おもつめ
（六）
（七）
（八）
（五）
（大）
（九）
（十）
（十一）
（十二）
（十三）
（十四）
（十五）
（十六）
（十七）
（十八）
（十九）
（二十）
（二十一）
（二十二）
（二十三）
（二十四）
（二十五）
（二十六）
（二十七）
（二十八）
（二十九）
（三十）
（三十一）
（三十二）
（三十三）
（三十四）
（三十五）
（三十六）
（三十七）
（三十八）
（三十九）
（四十）
（四十一）
（四十二）
（四十三）
（四十四）
（四十五）
（四十六）
（四十七）
（四十八）
（四十九）
（五十）
（五十一）
（五十二）
（五十三）
（五十四）
（五十五）
（五十六）
（五十七）
（五十八）
（五十九）
（六十）
（六十一）
（六十二）
（六十三）
（六十四）
（六十五）
（六十六）
（六十七）
（六十八）
（六十九）
（七十）
（七十一）
（七十二）
（七十三）
（七十四）
（七十五）
（七十六）
（七十七）
（七十八）
（七十九）
（八十）
（八十一）
（八十二）
（八十三）
（八十四）
（八十五）
（八十六）
（八十七）
（八十八）
（八十九）
（九十）
（九十一）
（九十二）
（九十三）
（九十四）
（九十五）
（九十六）
（九十七）
（九十八）
（九十九）
（百）

国立国会図書館　菊寿童霞盃 208-728

ガラス使用

国立国会図書館　菊寿童霞盃 208-728

ガラス使用

本舗荷賜顧光寵稗史購求貴客日晟一日非
大方之吹嘘曷克至此洪造難名感佩滿意哉
方今所刻菊壽童霞盃第八編実出京山翁之
瑤管蓋因前帙好評嗣出至于茲雖瑣々野冊
挙妄皈真道童發蒙竹馬之餘採棄之暇一披
繙辱高愛是祈唯供児曹之覧豈期君子之閲
是所稗史之分也　書肆　栄久堂　肅識

山東菴京山作
香蝶樓國貞画　天保十三年壬寅新板　同辛丑夏五月稿本初冬上梓

国立国会図書館　菊寿童霞盃 208-728
ガラス使用

国立国会図書館　菊寿童霞盃 208-728

ガラス使用

国立国会図書館　菊寿童霞盃 208-728

ガラス使用

国立国会図書館　菊寿童霞盃 208-728

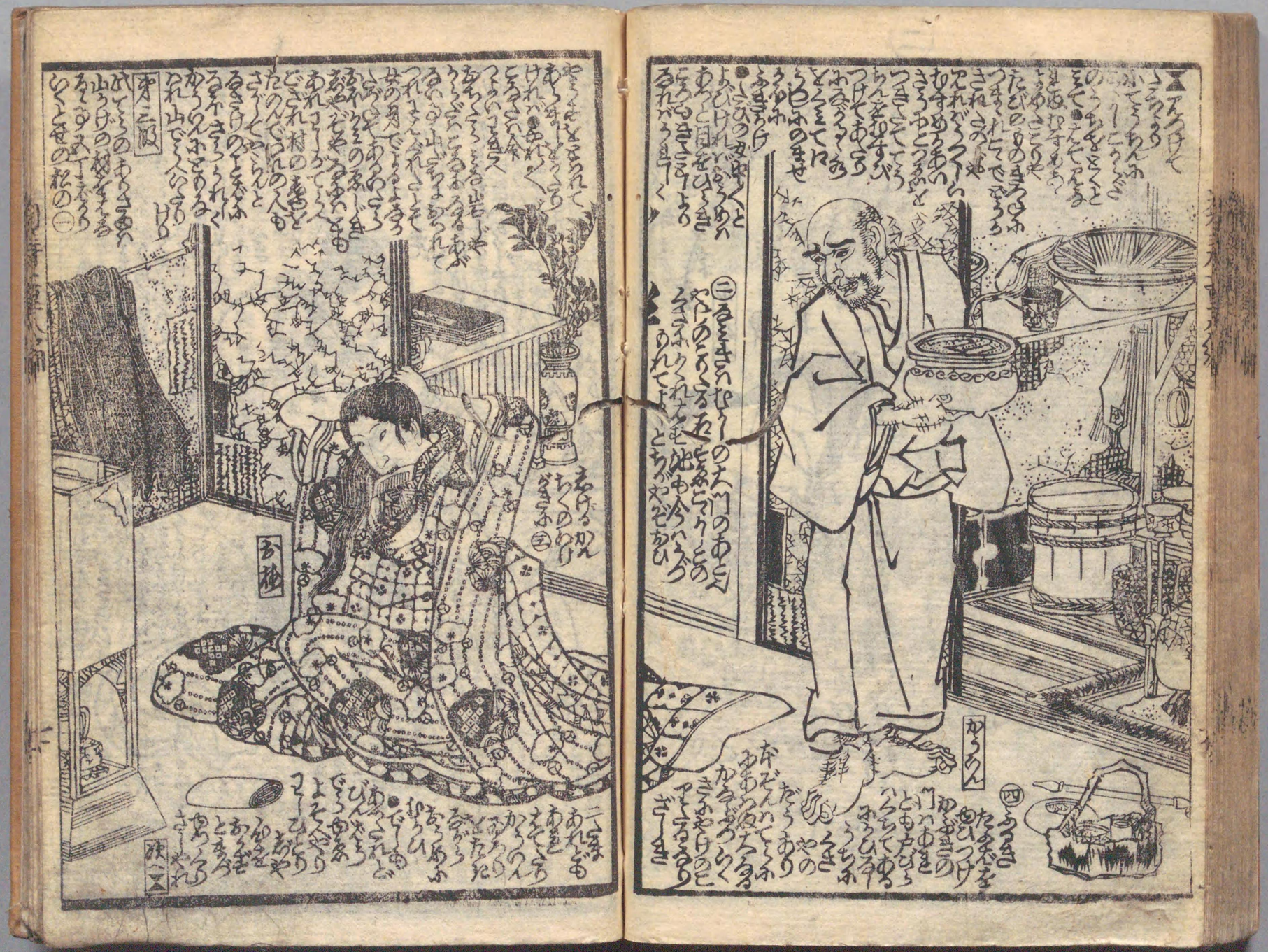
ガラス使用

国立国会図書館　菊寿童霞盃 208-728

ガラス使用

国立国会図書館　菊寿童霞盃 208-728

ガラス使用



国立国会図書館　菊寿童霞盃 208-728

ガラス使用

国立国会図書館　菊寿童霞盃 208-728

ガラス使用

国立国会図書館　菊寿童霞盃 208-728

ガラス使用

国立国会図書館　菊寿童霞盃 208-728

ガラス使用

菊寿童八編下

第六版

京山作
國貞画

国立国会図書館　菊寿童霞盃 208-728

ガラス使用

●ろくさんもう一たびいつひそろやさくるものとめてちろうきふるろくゆもちろくぶまの
●まァあの女中さんこりゃろくさんせうつくあのーえそぶえせぬ
ろくこのそのくぶおかろくのそろまれが●ろくさんありがくうまくろくのふろうそくよりある人のせすめしやろ
●あろう人ありきふふんろまて
ろくさんきもろ
女ごくろうとろろまてろう
○ろろう菊ふろうりの川ろめめそのそやや
二三日ばりめやふあーをろめさまいやとのせすめのすばろうろうが小つ四ところやまくるしあふろうまくれがざーきえやろてろちんさぶてきろう
●やし小つ四さ四たびりせきの上るりとまる次へ

Xれむりいやまやせぬおとろりのなふろりさえもぬきろうぐいやくい一ッでぬくあんるされやーこ●人のこもあれ川とあるまとがりろまそでとも●ろまえぬせんてこそでたこごいおとろうやまやーこふごのやうでもよいとあろあ●ありまーこと一なさそまで久めの奴せんこうくやれるりけり
○小つ四いこのてのをこのぞき●やし白ぎくさるりのきぬくもすぶつてこら
ふこうりのやろうふおりくぬりふつ四ろうとのるろいみちづれ川をめのやえぬあしてふ

国立国会図書館　菊寿童覆盃 208-728

ガラス使用

ようひんとりこうらうそこもれぶそこや
ひきけ女ぜんこうこうくうまこうこうのらこうろ
づくりのこの小用ぞとりこそちうこうあす
ありごこうひゃうぶもちゃうぶ
大小もまくてうとうろうふあん
ろうのさえかくらいくごやの
つまうれいあこうこ剃をが
いうこうむなのわつまもとくめ
のかのかとちゃいろれの
こくろうぶにとうり
うけ二ツのよぎふたつうそ
あけりこうこちらぎく
ろうけり○かくてあこうめ
まこうこ剃よくれつろ
ろうちゃおぶるつ
へくそのく大ものぐ
うこうさえそろをも
まこうぎうけりかる
うりもこうちんふ
うめやこあくんた
ろぶうこうちんふ
さけてさそろろの
ぎこれをふつそ
これがあこうかいさえ
てまこうこうごう（一）

（二）びゃうぶひき
あけてみまたん
いのちゃまさいこう
うえこうありひ
えこうろ白ぎく
九かそひかて
る女ありて
こうちんふ
ようくねうりを
ままえ
ろるり
こーきの
ねすめるり
こうこうな
あひもそんな
あうこれを
ろうこ

▼ある日まちのもとこやで
かくりまは母さえもまおりまを
あるこもちのでろさこれまを
ぬうとときいて小つぬ●り
ちゃうりまむろう●そ
やとの母もあうれる
ろく●さっく
なのそろさこと見
ませとろち
つれてこのて鬼ぞ
ひり●おとい
ろくざくれたで
ひとりか一升もよそ
あさやで肉うりくまどの
小つぬいくくぎみろうごろ
ろやのさこうまこくろ
らひきふろり白ぎくれ
もあんごんをびゃう
ぶのそとえらぐ
大小とよくらのとえ
ひきつけ一ツとふそうで
ねうやくひきうがりてねがり
けりっこうふきこそろざーたか
ちうめとこめの火まこうろうろ
べてうちあけるが
目とさまり小用ふもりんとそ用いふ
ものきこうるあんごんのりとの小てうちんをこれべ

国立国会図書館　菊寿童霞盃 208-728

ガラス使用

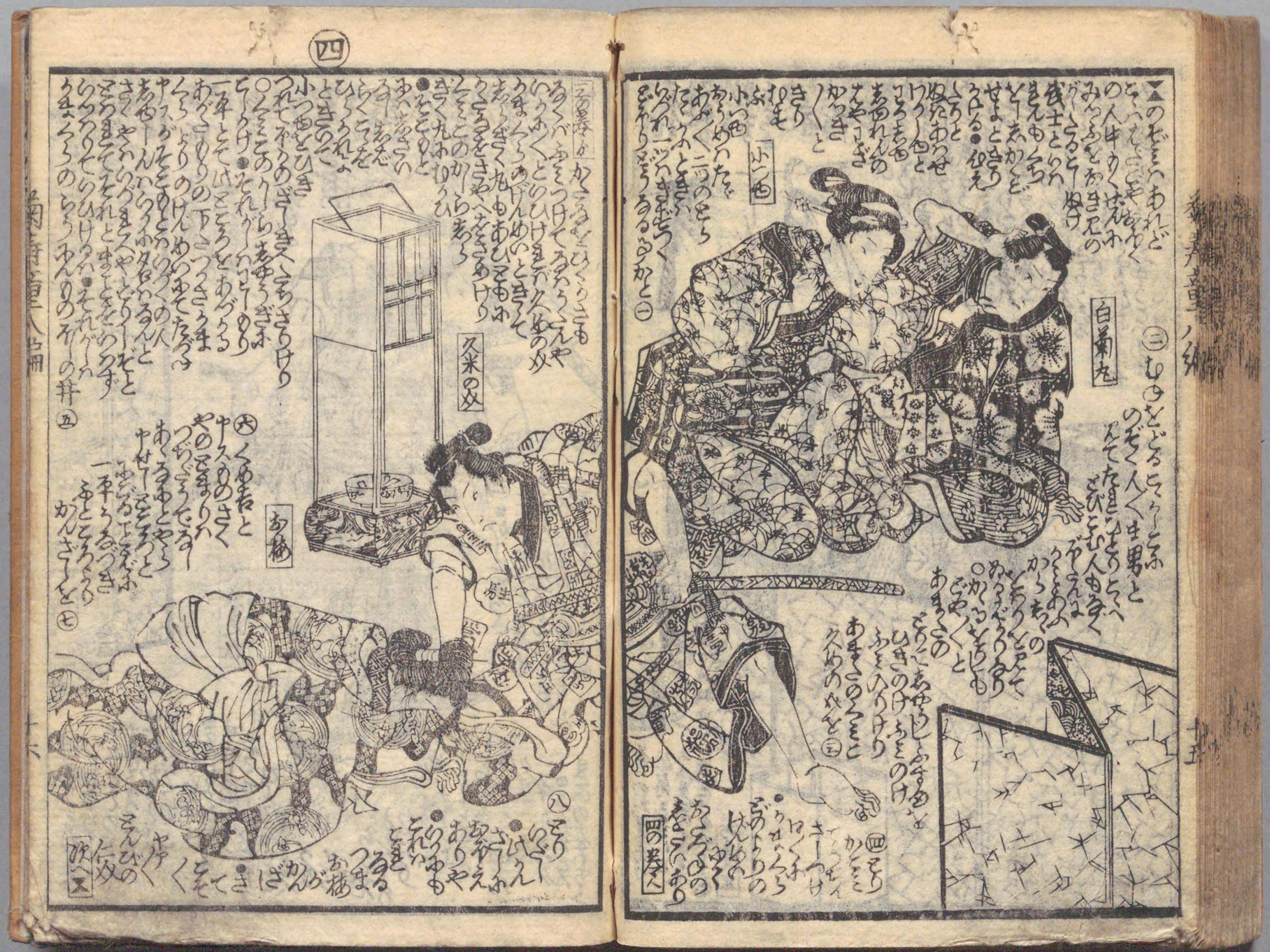
京山著述近刻女粧考
全五巻
京傳遺稿
京山滑稽畳
董集三編
和漢印章考古説稿

国立国会図書館　菊寿童霞盃 208-728

ガラス使用

国立国会図書館　菊寿童霞盃 208-728

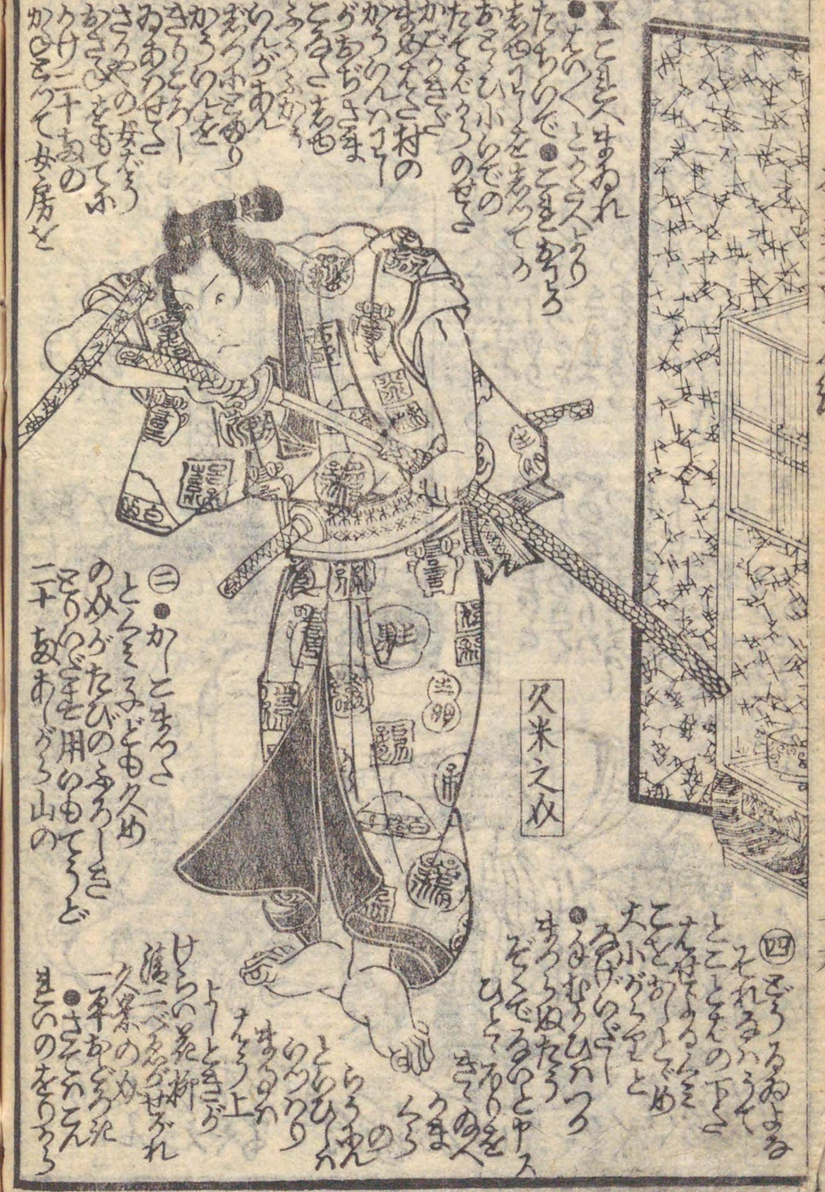
ガラス使用



国立国会図書館　菊寿童霞盃 208-728

ガラス使用

Ⅹ こゝろえ
●それのくとゝろえたりのでこゝをもろ
もゝこゝろをあてゝひ小ぐそのたてそだゝうのせさかぐうきざまぬそんこ村のかうのんかつゝぐあぢさまこゝろさもゝふかんぐあぬらんぐあぬふかうのんをきりとろゝおあわせさあさゝやのなぞゝうあさゝやをもてふくけ二十あのかゝさゝてお房と



久米之助

(二)●かゝこゝろえとゝろそのめぐたりのあぢ

(四)ぞうろあるそれるふうそゝとゝろえとゝそのしたさんねてるゝえこをおゝこゝめ大ぐそのぐそ●ゑむうひかつゝまろゝぬたうぞゝそゝるのとやすひとゝゝりをきてのゝくまゝくゝのらんえのつりまろゝのゝあゝ上

とゝひんえのつりまろゝのゝあゝ上

ようとゝさゝぐけらの名柳猶二ぐゑぐせぐれ久米のめ一本あぐろえ●さゝそこえ主のをりろ

つまそちくてんあさそのあとふあちてあつさこれけんさゝるゝあもあれゝさそあぐあぢのくゝえとありのゑこゝのりさえあれぐひゃてくびをろのゝやありてのふまげぜくおうめいたゞぐゝそなこのきんぶおそゝるやろとおりぐゑもろゑまゑろとのゝをいりぐそとの刃のうへありうゑんとくゝをそぐあゝりけりく米の奴一本ふりひ●のゝゆもゝうゝのへをゑふけゝーかやうゝとあいらまゝをくりゝ●今ゝをうえいゝさゝいふゝあぐえいござらぬをゝ一本●のゝさまゝこゝ女ぞうをゑゝあふさゝれあろのきろゝずころさんとゑゝるあふそくざふせろぐのるゝくろん武士あいゝのくぎゝゑるぐらきんさのらひゝさけふんさゑうゝずゝをきさありをあくくあよ(一)

白菊丸

ゑのこの倉子ゝつぎ(二)

国立国会図書館　菊寿童霞盃 208-728

ガラス使用

国立国会図書館　菊寿童霞盃 208-728

ガラス使用

国立国会図書館　菊寿童霞盃 208-728

ガラス使用

おそくこそいでこころろーとこころの人いでうをたすけそんさんせとゐるをいうーろくびさ
のへくこころのてふさーとれがひりや
あとろうめいでへやろそとふそ
のけけのけおそのくそ
あぶえそろとりろゐめ
かけてゐりあげてる
月ふきうめくだんびら
ものあらそむべーくめ
のめ一年ゞかくるのてと
さくミ川恋のよるのつめ
ゐまあろろうとあうめゞかゐる
まさそろとのひふえきりぐをる
ひきつくみそつくなまそでんと
きてこりおるのさんふーとうめり
一年うんでもいえをしろさま
ちけひりたりてそたふまけるふとうりいきくもひつろうざふうてん
るおのの尾くるをとわけてつくを
くこるよろそるさかーひ
ゐうくふこちのでけう久めの女
月うげふまろーでまだのたう生
大ふふくめんつきんあとふまろうふ
ふうりののへあとぞさーグをかそそく

お梅

久米之丞

由利の八郎

あの女とおうめがゐいをさき
やどく久米の女のぶりーく
●そもそもろあん女いろふ
人ゆくいのちを
たすられーをと
きいてろるづき
ふくめんてり
●それがーい
さのつところ
きくり川ゆて
さとのぞ
ありー
ちゐうるぞえ
むーゐきき
きゐうのきんごろ
かきる九
みの名へ菊寿
ごうがけらの
ゆとの八ろかとヤスのの
ゆふあろてろのさそろふ
あのびありーふ(一)

(二)あんオへ
ようー上
けらのと
きたのこ
ふたまこの
あつく
あうう当
ゐのそ
ふけ
たすけ
てり

猪 鹿 騒 蝶

国立国会図書館　菊寿童霞盃 208-728

ガラス使用

栄久堂梓行新舊稗史目録

菊寿童霞盃 初編ヨリ七編迄 山東庵京山作 香蝶樓國貞画

東海道五十三驛 初編ヨリ三編迄 鶴屋南北作 歌川國芳画

三國志画傳 初編ヨリ十編迄 十返舍一九作 歌川國安画

加々見山旧錦繪 全六冊 墨川亭雪麿作 歌川豊國画

國姓爺合戰 全六冊 墨川亭雪麿作 歌川國虎画

御誂染遠山鹿子 六編揃 柳亭種彦作 香蝶樓國貞画

江戸京池南傳町三丁目坂本氏 美艶仙女香 一包 四十八銅 黒油美女香

栄久堂 江戸より町親仁橋角 山本平吉販

国立国会図書館　菊寿童霞盃 208-728

ガラス使用

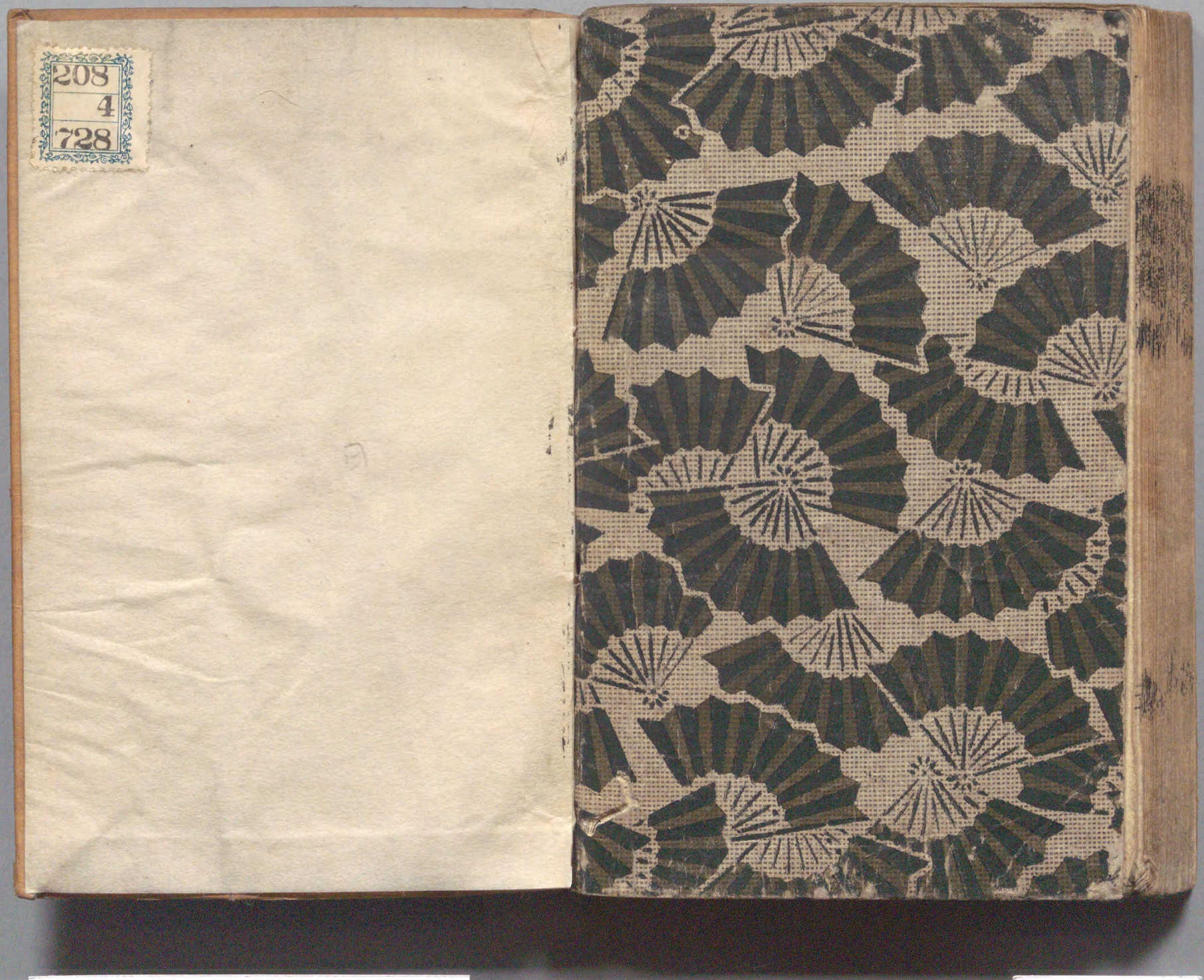
208
4
728

中川芙

国立国会図書館　菊寿童霞盃 208-728

ガラス使用

208
4
728



国立国会図書館　菊寿童霞盃 208-728

ガラス使用

国立国会図書館　菊寿童霞盃 208-728

ガラス使用